

Weekly Report

2018-19年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
「継続と変化」



インスピレーションになる

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：平野 好道
幹事：湯澤 信雄
クラブ広報委員長：長谷川 隆
例会日：毎週木曜日 PM12:30～
会場：ビルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

2018-19年度
国際ロータリーのテーマ
「インスピレーションになる」
(BE THE INSPIRATION)

第1878回例会

～青少年奉仕月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2019年5月30日(木) 晴れ 第40回

司会：北岡寿人会場委員
斉唱：「日も風も星も」
ゲスト：新見光治さん

会長挨拶

平野好道会長

今日の発表は不倫しやすい男性はいるのか?というテーマです。離婚する家系というものがあると言われるのは、例えば元貴乃花の一家。また、石田純一の一家。こういうものに科学的な根拠があるのでしょうか?眉唾かもしれませんが、一応お聞きください。



欧米では、結婚生活と遺伝の関係の研究が進んでおり、「不倫遺伝子」の存在が明らかになったと、動物行動学者の竹内久美子さんは言っているそうです。これによると、2008年にスウェーデンの研究所が発表した不倫に関する研究で、双子男性552組の遺伝子を調べたところ、不倫経験のある男性のある遺伝子に特定の変異があることがわかったそうです。この遺伝子の変異型を「アリル334」と呼び、この「変異した遺伝子」、つまり「アリル334」を2つ持つ男性は、持たない男性に比べ、過去1年以内に不倫や浮気が原因で離婚危機を経験した割合が2倍以上だったとのこと。

また「テストステロン」という男性ホルモンがありますが、このテストステロンの量と不倫にも因果関係があるとのこと。テストステロンは、男っぽさや闘争本能に関係するホルモンです。このテストステロンが多いほど性欲が強くなり、「誰かと浮気したい」という気持ちが芽生えます。しかし、テストステロンの量は遺伝的であると考えられており、持って生まれたテストステロンは、自分の意思で増やしたり減らしたりはできないそうです。ところが興奮状態におかれると、ヒトは短期的にテストステロン値が上昇します。このため、プロスポーツ選手や芸能人などハイになりやすい人はテストステロンが多く、不倫に走る傾向があります。

一方で、勝敗に仕事が左右されにくい公務員や農業従事者は、感情が安定し、テストステロンが抑制されているので、不倫経験者も少ないと考えられます。では、不倫をしてもこれは遺伝だから仕方がないと裁判で認められるかということそんなことはありません。

今回は、不倫と慰謝料についての面白い学説をご紹介しますので。

出席報告

入江理出席委員

会員66名 出席44名 (出席計算人数50名)

出席率 85.7% 5月23日は補填により75.9%

ニコボックス

入江理ニコボックス委員

- ・昨日は熱田神宮で神楽と御垣内参拝をしてきました。タイミング良く今日は千秋宮司さんのイニシエーションスピーチという事でとても楽しみにしています。 **萩原 孝則さん**
- ・千秋さん、本日イニシエーションスピーチ楽しみにしております。宜しくお願い致します。 **花井芳太朗さん**
- ・千秋さん卓話楽しみにしています。甲子園では残念な結果になりました。多数の御参加ありがとうございます。 **鈴木 淑久さん**
- ・5/29は結婚記念日でした。(42回目) **長瀬憲八郎さん**
- ・先日妻の誕生日にきれいな花をありがとうございました。又、甲子園では残念な結果でしたが、いい経験をさせていただき、準備いただいた皆様ありがとうございました。 **湯澤 勇生さん**
- ・妻の誕生日に素敵な花をありがとうございました。 **星野 一郎さん**
- ・野球部のみなさん惜敗でした。いつも出席できなくて戦力外ですみません。 **森 裕之さん**
- ・甲子園遠征に参加された皆さん、お疲れ様でした。まだ左内腿が痛みますが次回の練習までには治るよう養生します。 **田中 宏さん**
- ・先月の甲子園お疲れ様でした。 **鳥山 政明さん**
- ・先日の甲子園は残念でした。これからはもう少し練習をして頑張りましょう。でもとっても楽しかった! **松波 恒彦さん**
- ・甲子園お疲れ様でした。来年も是非出たいですね。 **本多 誠之さん**
- ・全国RC野球大会に出場。山口県柳井西RCに大敗しました。相手の投手は大学でエース格との事。残念乍ら涙を飲まされクヤシイ思いです。 **野崎 洋二さん**
- ・甲子園お疲れ様でした。審判を敵にまわしてしまひすみません。千秋さんイニシエーションスピーチ楽しみにしています。 **近藤 茂弘さん**
- ・甲子園おつかれさまでした。 **今川 知也さん**
- ・千秋さん、イニシエーションスピーチ楽しみにしています。 **関谷 俊征さん 湯澤 信雄さん 稲葉 徹さん 天野 正明さん**

委員会・同好会報告

野球部会：鈴木淑久さん

- ・練習日程を入れましたのでよろしくお願ひ致します。6月12日、18日、25日、7月5日、12日、19日です。

幹事報告

- ・次週6月6日(木)13:40より、第12回理事会をヒルトン名古屋4階「梅の間」にて行います。
- ・次々週6月13日(木)12:30より、第5回CFをヒルトン名古屋4階「竹園の間」で行います。

卓話 新会員イニシエーションスピーチ 千秋 李頼さん

テーマ:「熱田神宮と尾張氏」

ただいまご紹介に預かりました、新会員の千秋です。このイニシエーションスピーチをパスしないと会員になれないのかな?と緊張しています。タイトルは「熱田神宮と尾張氏」とさせていただきます。できるだけみなさんに分かりやすいように熱田神宮と我家の関係を紹介したいと思います。

熱田神宮はみなさまご承知の通り伊勢神宮に次ぐお社、全国的に知られています。熱田神宮も、と言いたいところですが東の方へ行くとまだまだ知名度が低いようです。熱田神宮は2000年くらいの歴史がありますが、5年ほど前に御創始1900年のお祭りをしました。熱田神宮に草薙の剣がお祭りされたのが1900数年前。実はその場所にすでに神社があったと推測できます。ちなみに「熱田」という名前があったかどうかは定かではありません。その神社へ草薙の剣がもたらされたということです。地域の氏神様の頃からこの神社のお世話をしていたのが尾張氏です。熱田という名前の由来は熱田大神宮縁起(あつただいじんぐうえんぎ)という本を見ますと、日本武尊が宮簀媛命のもとに置いていかれた草薙の剣をどこにお祀りすべきか、尾張一族がトをしたそうです。その時、田んぼの中にボツとあった社殿の隣の大きな楓の木が突然燃え出し田んぼの中に倒れ込み、周囲の田んぼが熱くなった。ここから、この地が「熱田」と呼ばれるようになったと記しています。この内容は資料的にはあまり信憑性はありませんがね。

尾張氏の出はもともと尾張ではなく、大和から入ってきた一族のようです。この一族が尾張を今のように造ってきたと言っても過言ではないと思います。その尾張氏の一番元が「乎止與命(おとよのみこと)」です。熱田神宮の南門のすぐ西の「上知我麻神社」にお祀りされています。その祖神が住んでおられた場所が、名古屋市緑区にあります「氷上姉子神社」の境内です。尾張氏はもっとさかのぼると「天火明命(あまのほあかりのみこと)」がご先祖だと言う。いま乎止與命から十一世に稲置見と言う方がおられます。この方が熱田神宮の初代の宮司さん、と言っているかと思えます。この稲置見の子孫が代々熱田神宮を護ってきたんです。ところが、平安時代ころになると尾張氏の勢力が弱まり、熱田神宮もどんどん廃れていく。そこで、時の大宮司、尾張員職(おわりのかずもと)が自分の娘・松に藤原氏から養子を取り、藤原季範(ふじわらのすえのり)を産みます。この方が藤原氏初代の熱田大宮司となられます。熱田神宮の長い歴史の中では尾張氏がずっとお護りしてきたと捉えておりますが、一般の歴史家は当時の最大勢力、藤原氏の力を以て熱田神宮を支えたとみています。

熱田神宮には次のような御託宣が伝えられています。

「櫻花 ちりなむあとのかたみには 松にかかれる 藤をたのみむ」

尾張氏が娘の松に託して、藤原氏の力をかりて今一度熱田神宮を盛り立ててくれ、と願ったのかもしれませんが。これが熱田の大宮司職は藤原氏が継いだということの所以であります。以後季範の子孫が熱田大宮司の職を継いでいきます。

大宮司家は以来嫡男が84代続いていると記録を残しておりますが、この家こそが我が「千秋家」であります。先に大宮司職は藤原氏ではなく、尾張氏が継いできたとも申し上げましたが、では我が家は何代続いたでしょう?スタートが定まらなると数え方も

代わってしまうと思いますが、今我が家で伝わっているのは、尾張氏として私で125代目。驚かれています方が多いようですが、皆さんも同じように続いてきているのに気づいてないだけかもしれません。続いてきたことを証明するものがあるか、無いか。これに尽きると思います。私どもは熱田神宮の祀職として古くから宮内庁へ系図の提出を義務付けられていたので、その家系が証明されているにすぎません。

熱田神宮には1900年を超す長い、長い歴史があります。その中には様々な事件、事故があったと思います。我が家にとって大変だったことは、明治天皇の思召しで、明治4年に世襲制廃止令が出されたことです。我が家に限らず、これまで全国ほとんどの神社が世襲していましたから、大混乱になったと思われま。我が家もその指示により、爾来熱田神宮を離れることになりました。

私の父親は戦中、戦後の混乱期を出兵、その後はサラリーマンとして転勤に次ぐ転勤、様々な仕事についたようです。私は何も知らず、もちろん神社のことなど全く知らずに育ってきました。大学入試の頃になって、明治の昔を知っていた祖母が母にこの子を神主さんにして昔の千秋家を継がせるわけにはいかないかとよく話していました。私はサラリーマンの子供で、神社のことなど全く知らない。一方、神社関係の年配者はほとんどが昔の千秋を知っているようでした。

何もわからず、何も知らない私が神社界に首を突っ込み、今日こんな格好でスピーチをしているなんて、想像もできなかったことです。しかし、職が変わるたびに定年が延び、いまその責任の重さを痛感しております。

こうして瑞穂ロータリークラブのお仲間に入れて頂き、もっとも熱田神宮のことを勉強し、皆様に神宮のことを広めていきたい、知っていただきたいと思いつつ日々を過ごしています。今後ともよろしくお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。



例会のご案内

■今週の卓話 6月6日(木)

テ — マ:新会員イニシエーションスピーチ
会員卓話:今川 知也さん

■次週の行事 6月13日(木) クラブフォーラム (次年度行事予定と委員会報告)

■次々週行事 6月20日(木) 下期納会

場 所:か茂免
時 間:18:00~20:00